



各位

上場会社名 株式会社タケエイ  
 代表者 代表取締役社長 山口仁司  
 (コード番号 2151)  
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 経営企画本部長 柳澤 茂  
 (TEL 03-6361-6871)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,200	1,220	1,150	650	27.13
今回修正予想(B)	12,600	650	580	240	10.04
増減額(B-A)	△1,600	△570	△570	△410	
増減率(%)	△11.3	△46.7	△49.6	△63.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	13,591	845	810	603	25.52

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	3,200	3,050	1,830	76.38
今回修正予想(B)	29,000	2,300	2,150	1,200	50.36
増減額(B-A)	△3,000	△900	△900	△630	
増減率(%)	△9.4	△28.1	△29.5	△34.4	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	28,560	2,185	2,125	1,290	54.22

修正の理由

#### 1. 第2四半期(累計)連結業績見直し

当第2四半期(累計)については、昨年9月に子会社化したイコールゼロ(株)及び昨年12月から営業稼働した木質バイオマス発電事業を行う(株)津軽バイオマスエナジーによる新規連結効果がありました。  
 一方で、主力事業である首都圏での建設廃棄物処理・リサイクルについては、ゴールデンウィーク以降の廃棄物取扱量が期待したほど確保できず、さらに前年同期に収益寄与した提案型一括請負業務も低調でした。  
 また、受注産業である富士車輛(株)の業績が停滞したこと、売上減が利益面へ影響した一部子会社があったこと等から、当第2四半期(累計)の連結業績は、想定を下回る見込みとなりました。

#### 2. 通期連結業績予想数値の修正

当第2四半期(累計)までの動向と、以下の状況を踏まえ、通期連結業績予想を見直します。

- <建設廃棄物処理・リサイクル>
  - ・首都圏の建設廃棄物処理は、(株)タケエイの東京及び川崎リサイクルセンターの稼働率が足元上昇傾向にあるものの、当初期待していた東京オリンピック関連施設建築工事が未だ本格化に至っていないこと
  - ・提案型一括請負業務は、第2四半期(累計)に続き受注が低調に推移していること
- <一部の不振子会社>
  - ・地方においては、解体工事等の回復に力強さが欠けていること
  - ・富士車輛(株)は、足元は案件増加傾向にあるものの、第2四半期までの低調を補うまでに至らないこと
- <バイオマス発電事業>
  - ・着実に進展しているものの、3施設が準備段階にあり先行投資が高むこと

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

以上